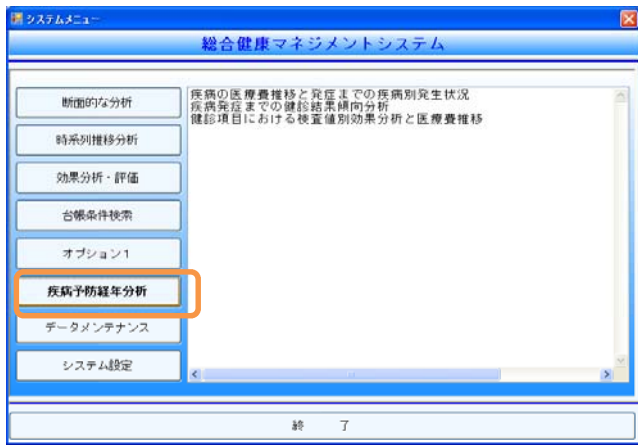
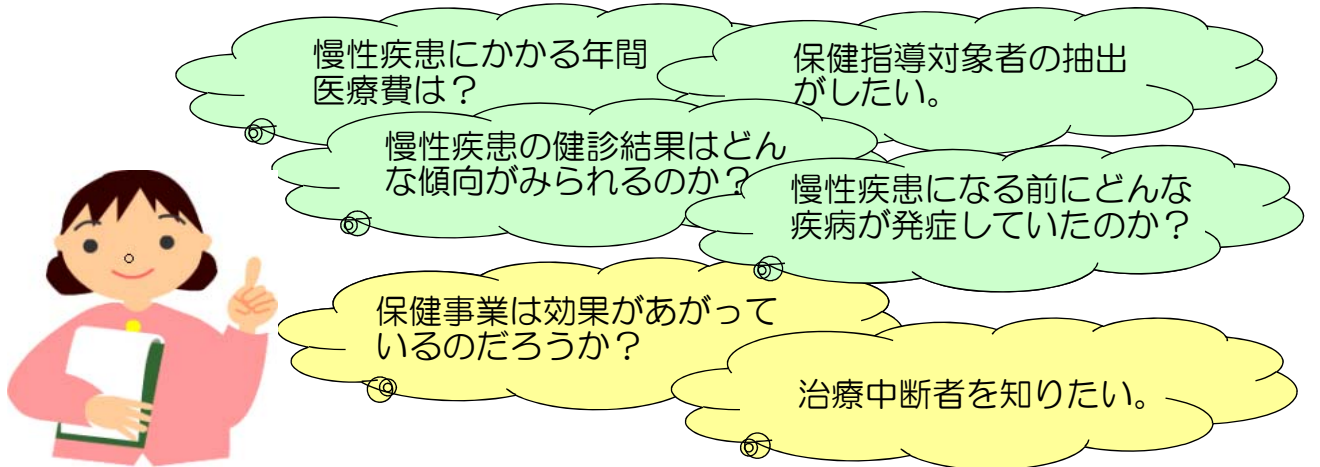


■ 疾病予防経年分析システムとは



疾病予防経年分析システムは総合マネジメントシステムのオプション機能としてご使用が可能です。



■ 疾病予防経年分析システムのテーマ

- 慢性疾患は重症化するほど複数の疾患を併発しており医療費も多くなっているのが現状です。そこで、人工透析など高額な医療費が必要となる前に慢性疾患予備群、重症化予防対象者を抽出し保健指導につなげることが重要と言えます。「疾病予防経年分析システム」は過去最大10年間の経年データから医療費情報、疾病情報、健診情報を集計、分析することで慢性疾患予備群や重症化予防対象者を保健指導対象者として選定することや指導後の効果を分析するための支援機能と位置づけております。

■ PDCAサイクルにおける疾病予防経年分析システム

- 疾病予防経年分析システムは保健事業における、PDCAサイクルの中での「Plan」と「Check」の作業を支援するシステムです。

Plan



Do

保健事業
個別保健指導

Check



保健事業の見直し
個別に再指導

Action

■ 疾病予防経年分析システムの導入効果

- 現状把握として過去10年間の疾病の医療費推移、疾病割合、併発疾病が明確化されます。
- 疾病発症者に関連する健診検査結果の10年間の推移から傾向把握をグラフ化し、発症予備群の判断補助となります。
- 過去10年間の健診検査結果の推移から保健事業の継続・中断の判断、個別の保健指導対象者の抽出などが容易となります。